



# 尚操



### 〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校  
尚操会  
〒682-0925  
鳥取県倉吉市秋喜20  
倉吉西高等学校内  
0858(28)-1811  
山本印刷(株)  
0858(47)-0088

## 会長挨拶



尚操会会長  
藤井 幸博  
(西高第24回卒業生)

## 星空に明るい未来を願って

今年の鳥取はほとんど雨が降らないまま、わずかに14日間で梅雨明けを迎えました。6月の梅雨明けは、県内の観測史上はじめてのことだそうです。その後、災害級といわれる連日の猛暑。つらい熱帯夜ですが、鳥取県は星の見えやすさで何度も日本一に輝いている、「星取県」です。こんなときこそ天の川を見上げ、星の輝きに涼を求めたいかがでしょう。流れ星も見やすいそうなので、願い事が叶うチャンスが訪れるかもしれません。

この2年間、尚操会はコロナ禍の影響で大半の活動を自粛してきましたが、今年8月の総会は開催することにしました。総会後の講演会の講師は、昨年の会報でご案内しましたように、西高25回生の菅埜達人さんです。鳥取県警察音楽隊で楽長をされていた時の活動や、母校の吹奏楽部設立時のご苦労、エピソードをはじめ、興味深いお話をたくさん伺えることと思います。皆様のご参加を心からお待ちしております。

ほとんどの事業が中止となるなか、唯一活動を続けてきたのが、「尚操会グラウンド・ゴルフを楽しむ会」です。担当の方々が感染の動向を注視しながら日程を調整し、きめ細かな感染対策に取り組んできた結果、これまで1人の感染者も出ませんでした。

「存じの方も多いと思います。尚操会では令和元年に「尚操会グラウンド・ゴルフを楽しむ会」が始まりましたが、参加者のご要望を受けて、昨年は優勝カップを学校から提供していただきました。今年も同様ですが、予算を計上しましたので、参加賞をはじめ各賞の景品を表彰式でお渡しできる予定です。今年の「尚操会グラウンド・ゴルフを楽しむ会」は、11月19日(土)に燕趙園で開催します。会員及びご家族の皆様、たくさんのご参加をお待ちしています。初めての方も大歓迎です。一緒に楽しくプレーしましょう。詳細につきましては、尚操会の公式ホームページをご覧ください。尚操会にお問い合わせください。

平成26年11月9日に倉吉未来中心大ホールにて盛大に開催した創立記念100周年の式典からはや8年、令和6年6月16日には節目の110周年を迎えることになり、そろそろ110周年事業について検討する時期になります。会員の皆様のご提案を歓迎しておりますので、ぜひご意見を尚操会に連絡していただきますようお願いいたします。

コロナ禍が続くなかで酷暑に見舞われておりますが、会員の皆様ならびにご家族の皆様のご健康とご活躍をお祈りしてご挨拶いたします。

## 花・水・木

西高卒業後、野球部監督からの誘い(縁)があり、平成2年から数年間、指導者として毎日のように母校に通っていました。当時の部員は50名を超えていました。

指導し始めた夏の大会から少し勝てるようになり、2年目以降は春の中国大会、山陰大会などにも出場しました。学校の関係者や保護者の方々の協力をいただき、皆が一丸となるような雰囲気生まれ、チームも上昇ムードになりました。対戦相手のなかには、その後プロ野球で活躍した選手が数人いましたが、西高にもプロから注目を浴びた生徒がいました。当時の部員は甲子園を目標に集まっていたのです。

勝って喜びを感じることは大事ですが、どの大会でも勝ち続けられるのは一校だけです。当時の私は、勝つことより負けた時の反省を次に活かし、同じミスをせず、生徒たちの成長につながる何が何より大事であると思っていました。しかし、そのことを選手に十分伝えられないまま指導者を退くことになり、それを後悔していました。

その後、ソフトボールの審判員として、全国の有名校が参加するような強化試合に臨んだことがあります。そのときに驚いたのですが、どの高校も指導者は試合中に言葉を発しないのです。攻撃中の数分間に、上級生が下級生を指導するだけで、生徒が中心となって試合を戦っていました。普段から自分たちで考えてプレイする指導がなされていたようです。

個人の運動能力はあまり変わらなかつたと思いますが、効率的な時間の使い方や、生徒同士の前向きなコミュニケーションにより様々な場面での適応力を普段から身につけてきている様子に感服しました。生徒たちに考えさせ、自主的に行動させるといふ指導は新鮮で、もし自分がこのような指導をしていたら、どうだっただろうか、と思わずにいられませんでした。

今の西高は勉学、運動に頑張っていると、よく聞いています。これからも、今を大事に、目標に向かって自信を持って前進していただくことを期待しています。

西高第28回卒業生 小谷 卓徳



### コロナ禍3年目の学校生活

校長 山口 宏志

尚操会会員の皆様方には、日頃より温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

コロナ禍3年目の今年、現在は第7波に入ったとされ、鳥取県においても感染が再拡大しており、まだまだ先の見えない状況が続いております。そんな中、7月2日(土)から4日(月)の3日間の日程で、第55回西高祭を開催することができました。50年以上も前に強い思いで始め

られ、それを多くの先輩方が引き継いでくださった西高祭ですが、今年も在校生たちは、企画・準備・開催・後片付けに至るまで主体的に動き、先輩方の強い思いをしっかりと引き継いでくれました。今年も、保護者の方々に3年ぶりにご覧いただくことができました。人数や時間帯の制限付きではありましたが、ステージ3(3年生)の保護者の皆さまには、3年間で初めて西

高祭を見ていただくことができました。新型コロナウイルスに加え、熱中症等の心配がある中ではありましたが、生徒たち自ら感染防止対策や熱中症対策を講じ、何とか無事に開催でき、本当によかったと思っております。

部活動の大会も、今年度は有観客での実施が増えてきており、8月に四国4県で開催される全国高校総体(インターハイ)も、有観客での実施の方向で準備が進められています。現在のところ、弓道部と自転車競技部が出場権を得ており、8月に迫った全国大会に向けて、日々頑張っ

ているところです。今年度ステージ1(1年生)から、入学時にChromebook(ノート型パソコンの一種)を各自で購入し、ICT(情報通信技術)を活用した学習活動が本格的に始まりました。各教科の授業をはじめ、本校独自の活動であるチャレンジグループ活動(総合的な探究の時間)や特別活動等において、情報活用能力を身につけると共に、ICTを有効に活用しながら、学びをおこなっているところとす。また、校外の講師の方々による講演会等についても、ICTを使いオンラインでご講演いただくことも増

えてきました。結びになりましたが、本校体育館の仕切りネット吊り下げ用の滑車一式を、昨年度末に尚操会より御寄贈いただきました。体育の授業や部活動において、大切に使用させていただきます。この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。



### 「この使命」を実現できる人材に育ってほしい

前校長 稲毛 靖

昨年3月に退職してから早1年あまりの時間が経ちましたが、在職中は尚操会の皆様にたいへんお世話になりました。心から感謝申し上げます。私は、単位制が導入された平成11年から14年間、そして一度転動した後の5年間と合計19年間の長きにわたり、勤めさせていただきまし

た。この間、1年生の担任からスタートし、様々な取組にかかわらせていただきました。単位制の1年目は2000人を8ホールに編成し、朝と帰りにSHRを2回行って生徒に目が行き届くシステムでスタートしました。また、土曜日の3、4限は現在の探究の先駆けである「ゼミ」を行い、一度は中断しましたがチャレンジグループ活動と名前を変えて復活し生徒たちは学びの意識を根本から変える取組となっていました。その後、時代が流れて生徒数

は1学年3クラスにまで減っていきました。小さな学校になっても勢い衰えることもなく、逆に弓道部・自転車競技部の活躍により学校全体が盛り上がり、活力をもたらしてくれました。生徒会活動においても自分たちの楽しみだけでなく、社会との接続を意識した行事を行い、様々な講演会や研修して得た内容を実践活用する動きにまで発展し、学びと真摯に向き合う生徒も増えて進路実績も大いに躍進し、幸せな時間を過ごすことができました。

校歌の最後の歌詞には、1番が「栄光の時ぞ来ぬ」2番は「栄光のこのあした」3番は「栄光のこの使命」というフレーズがあります。私は、1番2番の部分には概ね到達したのではないかと考えています。3番の「この使命」については、これから学びや経験を積み重ねて自らの使命を見つけ、諸先輩方に追いつけるように切磋琢磨して必ず実現できると信じています。

これから少子高齢化は進み、教育の形も変化していくと考えますが、倉吉西高の伝統は在校生が確実に引き継いでいます。これから自分なりの「この使命」を見つけ、社会や地域に貢献できる人材に育ってほしいと思います。



インタビュー

プロ競輪選手を目指す4人  
特別インタビュー

西高第65回卒業生 (平成30年)



保田 浩輔さん



青木 瑞樹さん



中原 航大さん



山根 慶太さん

本校在校時、自転車競技部で全国大会で活躍した保田浩輔さん(中央大)、青木瑞樹さん(中央大)、中原航大さん(法政大)、山根慶太さん(鹿屋体大)の4人はそれぞれの大学を卒業され令和4年4月、日本競輪選手養成所に揃って入所。日本競輪選手養成所は静岡県修善寺町の大自然の広大な敷地に立地し、現在彼らは来年3月の卒業後、令和5年夏のプロ競輪選手デビューを目指す。

選手候補生宿舍での集団生活は、朝は6時半起床。午前は3時間の学科を、午後は主に訓練を4時間行う。「日々のメニューで、1本1本全力を」(青木)、「有酸素系のトレーニング」(中原)と、一人ひとり力を入れる内容は違っても、意気込みにあふれている。また「週1回の携帯が使える時間が楽しみ」(山根)とあるように、養成所では原則として携帯電話はもちろん外部と連絡を取ることが禁じられている。そんな中において全国から選手が集まっていることで「普段はなかなかしゃべることのない候補生たちとのコミュニケーションはとて貴重であり楽しい」(保田・中原)と語る。毎日規則正しい生活をつづけながら切磋琢磨する様子がかがえる。

現在プロを目指す4人だが、倉吉西高自転車競技部に入部し自転車競技を始めるきっかけになったのは「ロードバイク(競技用自転車)がかっこよかったから」(青木)、「友達に誘われて」(山根・中原・保田)だったそうだが、そこからプロを目指す現在までどれほどの努力と経験があったことか。

後輩たちに向けて、「部活だけでなく勉強も頑張ってください」(中原)、「勉強をコツコツ」(山根)、「何かひとつ極めてほしい」(青木)、「胸を張ってこれに頑張ったと夢中になれるものを見つけてほしい」(保田)とメッセージをいただいた。

最後に「多くの人に応援してもらえる選手になれるよう頑張ります」(中原)と今後の抱負を語ってくれた。

寄稿文



社会人になって  
看護師になって思うこと

西高第63回卒業生 (平成28年) 石水沙菜恵

こんにちは。同窓生の石水沙菜恵です。私は現在、看護師として働いています。今回、社会人になって自分自身のことについてお伝えさせていただく機会をいただきましたので、私が看護師になろうと思った経緯、また看護師になってから意識していることについて紹介します。

まず、私が看護師になろうと思ったきっかけは、母が看護師で働いていることが一番大きいと思います。母はいくら仕事で疲れてもいつでもおやかで、家族の前ではしんどい姿を一つも見せませんでした。そのような母の姿を見て、小学生の時から私の母のような看護師になりたいと思ってきました。

次は、西高の学校生活の中で現在の仕事に活かしていることについてお話をさせていただきます。まず一つ目はチャレンジグループ活動です。自分の興味のある分野を

や運動中の怪我で骨折されたり痛みで動けなくなったりする方が入院されます。年齢も小児から高齢の方まで幅広い年齢層の患者さんがおられます。整形外科についての勉強はもちろん、それぞれの年齢の特徴の理解や、超高齢化社会で高齢の方もたくさん入院されるため、内科的疾患や認知症についての勉強も必要になります。また、今まで自分で生活していたのに急な怪我等で思うように動けなくなってしまう今後の不安や悲しみを抱いている方がたくさんおられるため、精神的に配慮しながら関わっていくことがとても大切になってきます。さらに、新型コロナウイルスの影響により入院された患者さんは退院するまで家族と面会できない状態が続いています。入院中の患者さんは入院が長期になればなるほどストレスが溜まってきます。患者さんのストレスを少しでも軽減できるように話を聞いたり、面会できない家族には安心してもらえるように患者さんの様子を適宜伝えるように意識しています。今まで当たり前でできていたことができない時代ですが、医療従事者として何ができるのか考えながら今後も働きたいと思っています。

# 事務局より

尚操会総会に沢山の同窓生が集まってもらう取組の一つとして、卒業後10年、30年の同窓生の方々に幹事学年をお願いしています。今年度の尚操会総会は、卒業後10年、30年ということとで平成5年、平成25年卒の学年に幹事学年としてお世話になります。へ来年度は平成6年、平成26年卒の学年の方にお世話になります。

現在、コロナ禍ではありますが、総会以外でも同窓会、クラス会を開催されていることと思います。尚操会では同窓会、クラス会を開催されるにあたり、参加人数が10人以上であれば補助金を支給しています。また、クラス会の様子を会報に掲載したく思いますので、写真や原稿を送っていただければ幸いです。詳しくは尚操会ホームページの「同窓会・クラス会について」をご覧ください。

## 講師紹介 菅 達人 (すがの・たつひと) さん



### ■プロフィール

1978年 (倉吉西高第25回卒業)  
 高校入学後、吹奏楽部 (音楽部) を創部し3年間部長を務める。  
 大学では管弦楽部に所属し、作曲家近衛秀健氏の指導を受ける。  
 卒業後は鳥取県警察官となり、その後警察音楽隊に入隊。  
 奏者を経て楽長に就任し約30年間勤務する。  
 2020年3月退職

## 尚操会 ホームページ紹介

[公式]尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会  
<http://shosokai.info/index.html>  
 「倉吉西高同窓会」で **検索**



## 令和4年度尚操会総会のご案内

日時 令和4年8月20日(土)  
 午後3時～

場所 倉吉シティホテル

総会 午後3時～

講演会 午後4時～

記念撮影・懇親会 午後5時～

(懇親会はコロナ感染状況により、中止になることもあります)

会費 3,000円

## 第4回尚操会グラウンド・ゴルフを楽しむ会

昨年11月に第3回グラウンド・ゴルフを楽しむ会を開催しましたが、今年も11月19日(土)に計画しています。コロナウイルス感染予防に取り組み、楽しい会にしたいと考えています。

す。コロナウイルスの感染状況によっては中止となることもあります。詳細は尚操会ホームページ等で案内しますので是非ご参加ください。

## 尚操会名簿を 発刊しました



令和2年10月に、8年ぶりの『尚操会名簿』を発刊しました。会員の皆様には大変お世話になりました。購入を希望される方は尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

● 1冊 3,600円  
 (振り込み手数料・送料が別途必要)

## 創立百周年記念誌 発売中です



創立百周年記念誌の購入を希望される方は、尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

● 1冊 5,000円  
 (振り込み手数料・送料が別途必要)